

子育てコンシェルジュのワンポイントアドバイス

令和3年8月号

お問い合わせは
東松山市子育て支援課
子育てコンシェルジュへ
☎0493-63-5005



夏休みいかがお過ごしでしょうか？我が家のプチトマトときゅうりがよく実り、毎朝収穫を楽しんでいます。生野菜が苦手だった末っ子も、自分で収穫した野菜はモリモリ食べます。野菜を作っていないなくても、スーパーで自分で選んだ野菜は特別だったりします。実際収穫してみたい方、農林公園では収穫体験もあります！！



ところで・・・、おんぶもしていますか？

私は育児中(現在15歳、12歳、5歳)に1番使った育児用品はおんぶひもでした。最近、あまりおんぶをしている方を見かけないような気がします。抱っこももちろん良いですが抱っこをしていないとグズグズちゃんになり、家事がすすまないとかか上の子を追いかけるのが大変という方はおんぶを試してみてもいいし、さらしでもできますよ。

抱っことおんぶどっちにしようかな？ ～使い分けましょう～



抱っこ

- ・自宅でお子さんとじっくり向き合えるとき。
- ・電車での移動をするとき。

<メリット>

- ・子どもの顔がよく見える。
- ・子どもの声が聞こえるので会話をしやすい。
- ・親の心音が聞こえるので、子どもが安心する。
- ・密着度が高いので、お互いに安心感がある。



<デメリット>

- ・赤ちゃんの視野が狭い。
- ・転んだ時に大人が支えきれないため、無防備。
- ・(大人)下が見えないので、足元に不安がある。

おんぶ

- ・我が子が泣いているけど家事もすすめたいとき。
- ・上の子とも一緒に遊んであげたいとき。

<メリット>

- ・両手があき、身体の前側の視界がひらけるので、家事がしやすい。
- ・大人の肩の高さでおんぶされるので、大人と同じ目線を共有できる。視野が広がる。
- ・大人が動くのを体感できるので、赤ちゃんも身体の動きや仕組みを理解しやすい。
- ・大人の背面のあちこちにしがみつくと、体感が鍛えられる。バランス感覚がよくなる。



<デメリット>

- ・表情が確認できない。
- ・子が身を乗り出したとき、大人の幅よりも広がるので、障害物にぶつかりやすい。
- ・他人に押されたり、気づかぬうちに子供の手が届くものを勝手に触ってしまうかもしれない。



《いつからOK?》

しっかりと首が座ってからおんぶに挑戦してください。

～首すわりの目安～

- ・赤ちゃんを仰向けにねかせて、両手を引き上げたときに首が遅れずについてくる。
- ・うつ伏せにしたら自分で頭を持ち上げられる。
- ・寝返りができる。

よくわからないときは、乳児健診の時やかかりつけの先生に確認してみましょう。

